THE ILC GAZETTE

横浜隼人高等学校 国際語科通信

Vol.１３
2017･8･16

インターアクトサマーミーティングに参加しました（７月３０日）本校では秋よりインターアクト（ロータリークラブにより提唱された１２歳から１８歳までの青少年または高校生のための社会奉仕クラブ）に加盟します。生徒会・ボランティア同好会がその活動の主体となりますが、ＩＬＣ生徒もそのメンバーにいます。この日は１８校のインターアクトの学校が集うサマーミーティングに参加しました。前半はフィリピンのストリートチルドレンを支援しているＮＰＯ法人「アクション」という団体を１８歳で立ち上げた横田宗さんの講演、後半は途上国の格差の問題を学ぶ「貿易ゲーム」を行いながら他校と交流を行いました。

（http://actionman.jp/より）

（アクション代表　横田宗さん）

貿易ゲームでは白熱した各国交渉が行われました！

ユニセフ・リーダー講座に参加しました（８月１日　品川ユニセフハウス）日本ユニセフ協会主催のこの講座では、ユニセフの活動や世界の子どもたちの現状を学んだり、ネパールの方を講師に招いてネパールのある村の教育の改善についてワークショップ形式で考えました。またユニセフハウスは充実した展示もあり、見学も行いました。開発途上国の現状を学ぶことができるので、是非一度訪ねてみよう！

ボランティアの方が展示について丁寧に説明してくださいました。

ユニセフの活動、世界の現状がよく分かる展示！

ワークショップでは、ネパールのある村の教育をどうしたら改善できるか、ユニセフの担当官になったつもりで考えました。

ワークショップ講師のエソダ・バスネットさんと記念に。

いわき市交流訪問に行ってきました（８月８日～９日）　東日本大震災以降、本校では様々な形で被災地支援を行ってきました。なかでも「瀬谷フェスティバル」では被災地の物販のボランティアを行っています。そうしたつながりから今年の夏、いわき市を訪れ、学校間交流や被災地視察を行うことになりました。「被災を越えて」日本の人々をつなげていく活動をＩＬＣでは今後も続けていきます！

まず訪れた「**スパリゾートハワイアンズ**」震災で段差ができてしまったそうです→

夕方は「**いわきおどり**」のボランティアに参加。ステージで学校紹介もしてくださいました。その後は会場のみなさんと一緒に踊りました！

翌日は、いわきの被災状況を視察しました。大きな被害を受けた**小名浜港**の資料館を見学。車窓からはもとは街だった場所が、空き地になっている所が数多く見られ、胸が痛みました。

福島県立平商業高等学校

４月に行われた「希望ヶ丘商店会フェスティバル」で、この学校の生徒がプロデュースしたラムネ「**フラムーネ**」を販売しました。生徒会の皆さんが震災についてプレゼンテーションをしてくださいました。

東日本国際大学附属昌平高等学校

校長先生にもお出迎えいただき、生徒会の皆さんと交流しました。

希望ヶ丘フェスティバルでいわきの物産を販売した利益をいわき市に寄付しました。**いわき観光まちづくりビューロー**高橋館長にお預けしました。

今年の１０月も「瀬谷フェスティバル」でいわきの物産販売ボランティアを行います！是非参加して下さい！